

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 渡辺健次 副委員長 藤原康宏

幹事 三好康夫・立岩佑一郎 幹事補佐 山元 翔・加納 徹

日時 12月11日(土) 10:00~16:50

会場 オンライン開催

議題 若手企画/一般

午前 ET(1) (10:10~11:30)

1. ネットワークセキュリティ演習のための直感的でシームレスな操作と軽快な応答性を目指したウェブ型演習システムの評価 立岩佑一郎(名工大)
2. 力覚装置を用いた電磁気学学習支援システムの実験的利用による有用性の検討
○程 子軒・加納 徹・赤倉貴子(東京理科大)
3. VR 機器を用いた協働型化学実験環境における危険の学習システムの試用と情報共有による意思疎通方法の提案
○藤原尚志・加納 徹・赤倉貴子(東京理科大)
4. 授業での VR コンテンツ作成支援システムの利用とその改良点の検討
○小山 陸(東京理科大)・卯木輝彦(フォトロン)・加納 徹・赤倉貴子(東京理科大)

午後 ET(2) (13:00~14:20)

5. 深層学習と多次元項目反応理論を用いた複数観点同時自動採点手法の開発 ○柴田拓海・宇都雅輝(電通大)
6. 外国語語彙学習のためのテスト理論上の説明性を持つ多義語の用例の重要度の可視化 江原 遥(学芸大)
7. 研究室のスタイルに対応したプレゼンテーション構造の評価指標の提案
○高橋一真・長谷川 忍・太田光一(北陸先端大)
8. 議論事例理解のためのソーシャルメディア中の議論構造と話題分布の視覚化 ○千葉広汰(福島大)・中山祐貴(早大)・大沼 亮(津田塾大)・神長裕明(福島大)・宮寺庸造(学芸大)・中村勝一(福島大)

ET(3) (14:35~15:35)

9. 視線分析によるデバッグ時の思考過程のモデル構築手法の提案 ○吉森航平・加納 徹・赤倉貴子(東京理科大)
10. ニューラル言語モデルと要件効果構造に基づく特許法の論理式への変換
○富田晟央・加納 徹・赤倉貴子(東京理科大)
11. 誤りの可視化を重視した Teachable Agent モデリング手法 TAME の提案
○古池謙人・樋村いづみ・東本崇仁(東京工芸大)

ET(4) (15:50~16:50)

12. プログラミング初学者がスマートフォン教材で学習したときの興味の変化の観察
○田中大樹・平山 亮(阪工大)
13. 授業振り返りのための授業中の児童生徒に対する教員の行動解析
○河内治遼・大井 翔(阪工大)・後藤壮史(王寺小)
14. 中学生プログラミング教室における Python プログラムの傾向分析
○小酒井亮太・張 文軒・小林敏樹・渡邊裕司(名古屋市大)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2022年1月22日(土) 関西大学〔締切済〕テーマ:身体知・スキル教育/一般

2022年3月4日(金) 高知大学 朝倉キャンパス〔1月12日(水)〕テーマ:プログラミング学習支援/一般

【問合先】

立岩佑一郎(名工大)

E-mail: tateiwa@nitech.ac.jp

○第1著者として、1回の研究会で1件まで発表できます。

○原稿締め切り日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めておりませんので御注意下さい。

○原稿は、4ページ、または6ページで作成して下さい。

○本研究会の取り組みについては、ET 研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/iss/et/>) も御覧下さい。

○当日の発表時間は、進捗により多少ずれることがあります。あらかじめお含みおき下さい。